

各関係機関の長 様

静岡市保健所 所長 田中 一成
静岡県立総合病院 院長 小西 靖彦

2022年静岡県立総合病院バンコマイシン耐性腸球菌集積事例について

日頃から、静岡市保健所、並びに静岡県立総合病院の運営に御理解と御協力を賜り、暑く御礼申し上げます。

さて、静岡県立総合病院では、2022年3月以降、6月26日現在で計45例のバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が分離された患者が確認されましたので御報告いたします（下図）。

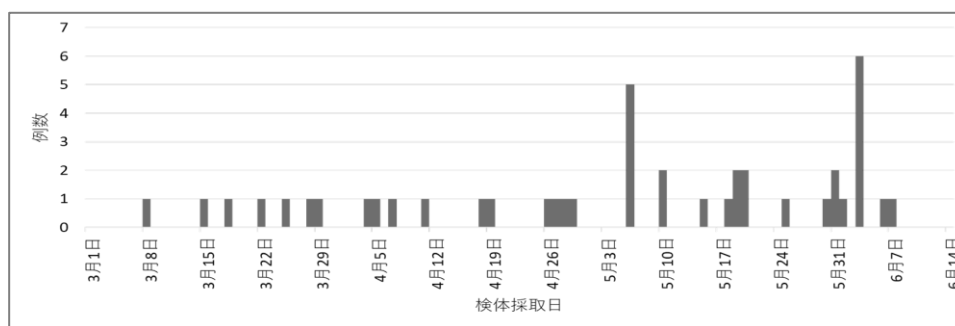


図 静岡県立総合病院 VRE 事例の流行曲線、2022年3月 - 6月

今回判明した45例は、男性の高齢者が多い傾向があり、院内の複数病棟から確認されています。多くは便スクリーニング検査で判明した人となっており、静岡市環境保健研究所における菌株解析結果からは、院内伝播が疑われる患者がいる一方で、地域からの持ち込み患者が複数確認されています。

腸球菌は健常者の腸内に多く認められ、腸管内にいても通常無症状ですが、術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症等の感染症を引き起こす場合があります。腸球菌がこれらの感染症を起こしてきた場合、その腸球菌がVREだと、治療が極めて困難になります。

現在、国立感染症研究所と相談のうえ、以下の対策を実施しています。

- ・ 病院全体での感染対策の推進
- ・ 定期的便スクリーニング検査の実施（全入院患者、入退院時）
- ・ 手指衛生強化
- ・ VRE患者に対する個室・コホート隔離を含む接触予防策の迅速な実施
- ・ 排泄介助方法の見直し
- ・ 事例発生状況の院内外への適宜の情報共有

当院で治療を受けている患者及び、ご家族の皆さま、並びに地域の関係者の皆さまにご心配をおかけしております。感染対策の実施にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。状況の進展がありましたら、改めて情報共有をさせていただきます。

担当 静岡県立総合病院
患者サポートセンター
054-247-6111(内線 2476)